

但馬管内の景気動向調査

2019 年 1～3 月期実績・2019 年 4～6 月期見通し

【特別調査 中小企業におけるインターネット利用とキャッシュレスへの対応について】

調 査 の 概 要

1. 回 答 数：404（前回：292）
 2. 調査時点 2019年3月上旬
 3. 当金庫 営業店の調査員による、共通の調査表に基づく聴取り調査
 4. 分析方法：ディフュージョン・インデックス（D.I.）
景気の各項目事項について、「増加」（良い）－「減少」（悪い）の構成比の差＝判断 D.I. に基づく分析
- ※全国とは、信用金庫の中央機関である信金中央金庫が全国各地の信用金庫から調査した調査の結果を示している。



但馬信用金庫

1. 概況（回答数404 前回292）

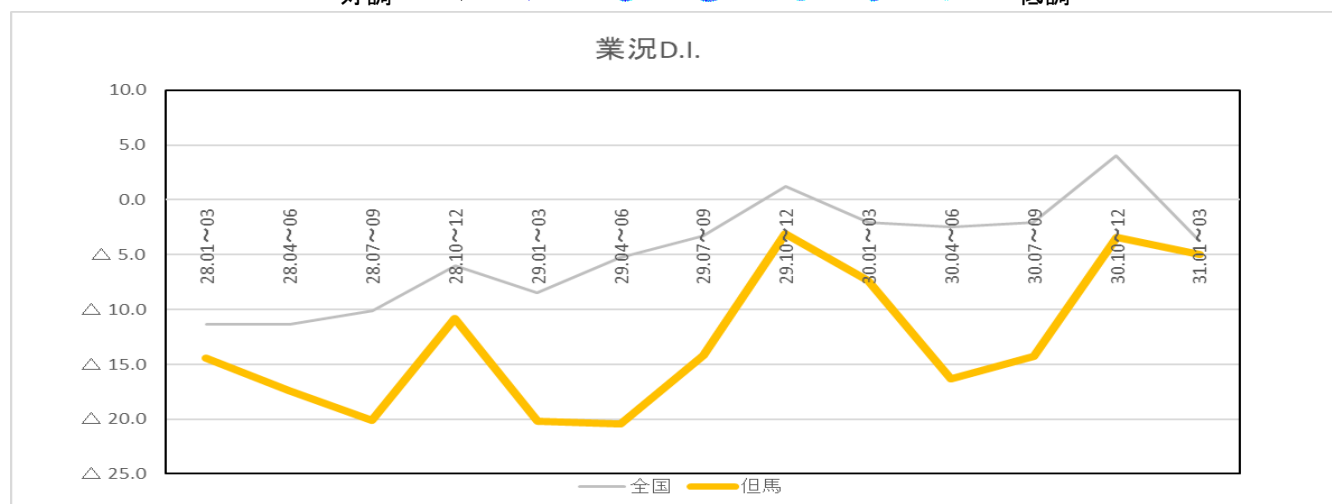
今回(1月～3月期)の業況D.I.は△5.0となり、前四半期比1.5ポイント悪化した。前回調査では売上額D.I.・収益D.I.がプラスに転じていたが、今回の調査では売上額D.I.・収益D.I.が大きくマイナスに転じ、調査項目全てが軒並みマイナス傾向となった。また、これまで課題であった人手過不足D.I.が更に3.0ポイント悪化しており、全業種で人手不足が深刻な問題となっている。また、全国との比較でも、但馬エリアを取り巻く経営環境の厳しさは続いており、次回(4月～6月)四半期予想でも、売上額D.I.・収益D.I.は更に悪化することが見込まれ、業況D.I.は△15.4ポイントと全国△2.7ポイントと比較しても厳しい予想となっている。

全体	2019年1～3月期実績	前四半期比	2019年4～6月期予想
業況D.I.	△ 5.0	△ 1.5	△ 15.4
前年同期比売上額D.I.	△ 8.2	2.4	-
前年同期比収益D.I.	△ 6.7	7.7	-
売上額D.I.	△ 7.9	△ 21.3	△ 14.4
収益D.I.	△ 9.2	△ 15.4	△ 16.0
資金繰りD.I.	△ 10.9	5.9	△ 14.7
借入金の難易度D.I.	△ 5.3	2.9	-
前期比残業時間D.I.	△ 1.7	△ 8.6	△ 4.5
人手過不足D.I.	△ 32.9	△ 3.0	△ 29.3

業種名 \ 時 期	2018年 10～12月	2019年 1～3月	2019年 4～6月(見通し)
総 合			
製造業			
建設業			
卸売業			
小売業			
不動産業			
サービス業			

(この天気図は、過去1年の景気指標を総合的に判断して作成したものです。)

好調← →低調



2. 製造業（回答数 74 前回 56）

今回の調査で業況 D.I. は 4.1 ポイントとなり、前四半期比 0.5 ポイントの改善となった。要因としては、受注残 D.I. は前四半期比 18.8 ポイントと大きくマイナスとしたが、販売価格 D.I.・原材料価格 D.I. は辛うじて 1～3 月期はプラスで維持。これにより資金繰り D.I. はマイナスながら改善し、設備投資 D.I. も 37.8 ポイントと高い水準を維持した。一方、人手過不足 D.I. は $\Delta 42.5$ ポイントと前四半期比 3.2 ポイント悪化しており、人手不足感否めない。4 月～6 月期予想では、引続き販売価格 D.I.・原材料価格 D.I. はプラスを維持すると見通しであるが、人手過不足 D.I. は $\Delta 35.6$ ポイントと悪く、業況 D.I. はマイナスに転じる予想である。

製造業	2019年1～3月期実績	前四半期比	2019年4～6月期予想
業況 D.I.	4.1	0.5	$\Delta 2.7$
前年同期比売上額 D.I.	8.2	8.2	-
前年同期比収益 D.I.	$\Delta 1.4$	$\Delta 1.4$	-
売上額 D.I.	$\Delta 17.6$	$\Delta 46.1$	$\Delta 4.1$
受注残 D.I.	$\Delta 2.7$	$\Delta 18.8$	$\Delta 4.1$
収益 D.I.	$\Delta 24.3$	$\Delta 38.6$	$\Delta 8.1$
販売価格 D.I.	0.0	$\Delta 16.1$	5.4
原材料価格 D.I.	27.0	$\Delta 8.7$	21.6
原材料在庫 D.I.	2.7	2.7	0.0
資金繰り D.I.	$\Delta 5.4$	1.7	$\Delta 4.1$
借入金の難易度 D.I.	8.1	2.8	-
前期比残業時間 D.I.	5.4	$\Delta 19.6$	$\Delta 8.1$
人手過不足 D.I.	$\Delta 42.5$	$\Delta 3.2$	$\Delta 35.6$
現在の設備 D.I.	$\Delta 20.3$	2.9	-
設備投資 D.I.	37.8	$\Delta 8.6$	-
来期設備投資 D.I.	36.5	$\Delta 4.6$	-

3. 建設業（回答数 82 前回 67）

今回の調査で業況 D.I. は $\Delta 4.9$ ポイントとなり、前四半期比 14.2 ポイントの悪化となった。要因としては、受注残 D.I.・施工高 D.I. が悪化したことに伴い、売上額 D.I.・収益 D.I. が大きく悪化したことが大きい。しかしながら、借入難易度 D.I. は大幅に改善し、資金繰り D.I. もマイナスながら改善傾向となった。人手過不足 D.I. は $\Delta 43.9$ ポイントであり、建設業界でも人手不足感が否めない。4 月～6 月期予想では、受注残 D.I.・施工高 D.I. で若干改善が見込めるが、請負価格 D.I. は悪化が見込まれ、人手過不足 D.I. も小幅な改善しか見込めず、業況 D.I. では $\Delta 2.5$ ポイントを予想する。

建設業	2019年1～3月期実績	前四半期比	2019年4～6月期予想
業況 D.I.	$\Delta 4.9$	$\Delta 14.2$	$\Delta 2.5$
前年同期比売上額 D.I.	$\Delta 13.4$	$\Delta 7.4$	-
前年同期比収益 D.I.	$\Delta 8.5$	5.1	-
売上額 D.I.	$\Delta 12.2$	$\Delta 24.1$	$\Delta 12.2$
受注残 D.I.	$\Delta 24.7$	$\Delta 33.6$	$\Delta 17.3$
施工高 D.I.	$\Delta 7.3$	$\Delta 17.8$	$\Delta 17.3$
収益 D.I.	$\Delta 8.5$	$\Delta 22.0$	$\Delta 10.0$
請負価格 D.I.	$\Delta 1.2$	$\Delta 4.2$	$\Delta 7.4$
材料価格 D.I.	29.3	8.4	18.5
在庫 D.I.	$\Delta 4.9$	$\Delta 0.4$	$\Delta 2.5$
資金繰り D.I.	$\Delta 11.0$	6.9	$\Delta 11.0$
借入金の難易度 D.I.	5.1	19.4	-
前期比残業時間 D.I.	$\Delta 8.5$	$\Delta 14.5$	1.2
人手過不足 D.I.	$\Delta 43.9$	$\Delta 6.6$	$\Delta 39.0$
現在の設備 D.I.	$\Delta 7.3$	4.8	-
設備投資 D.I.	34.1	8.8	-
来期設備投資 D.I.	32.9	6.1	-

4. 卸売業（回答数 49 前回 31）

今回の調査で業況 D.I. が $\Delta 16.3$ ポイントとなり、前四半期比 19.6 ポイントの大幅な悪化となった。要因は、販売価格 D.I.・仕入価格 D.I. の悪化により、売上額 D.I.・収益 D.I. が大幅に悪化したことが大きい。しかしながら、前四半期業況が好調であったことから資金繰りは改善傾向にある。4 月～6 月期予想では、資金繰り D.I. では悪化が見込まれるが、販売価格 D.I.・仕入価格 D.I. の改善は見込め、業況 D.I. は小幅な悪化で留まる予想である。

卸売業	2019年1～3月期実績	前四半期比	2019年4～6月期予想
業況 D.I.	$\Delta 16.3$	$\Delta 19.6$	$\Delta 18.4$
前年同期比売上額 D.I.	$\Delta 16.7$	$\Delta 3.8$	-
前年同期比収益 D.I.	$\Delta 2.1$	17.3	-
前年同期比販売価格 D.I.	25.0	2.4	-
売上額 D.I.	$\Delta 16.3$	$\Delta 58.3$	$\Delta 2.0$
収益 D.I.	$\Delta 14.3$	$\Delta 46.5$	$\Delta 4.1$
販売価格 D.I.	18.4	$\Delta 17.1$	12.2
仕入価格 D.I.	14.3	$\Delta 24.4$	12.2
在庫 D.I.	8.2	$\Delta 14.4$	0.0
資金繰り D.I.	$\Delta 8.2$	14.4	$\Delta 14.3$
借入金の難易度 D.I.	$\Delta 8.3$	$\Delta 4.8$	-
前期比残業時間 D.I.	0.0	$\Delta 10.0$	0.0
人手過不足 D.I.	$\Delta 14.3$	$\Delta 11.1$	$\Delta 12.2$
現在の設備 D.I.	$\Delta 6.3$	0.2	-
設備投資 D.I.	26.5	$\Delta 2.5$	-
来期設備投資 D.I.	28.6	2.8	-

5. 小売業（回答数 61 前回 39）

今回の調査で業況 D.I. が $\Delta 19.7$ ポイントとなり、前四半期比で 6.0 ポイント改善し。要因としては、販売価格 D.I.・仕入価格 D.I. が悪化したものの、在庫 D.I. が改善され、売上額 D.I.・収益 D.I. も改善されたことが大きい。また、人手過不足 D.I. は他業種でマイナスとなる中、前四半期比プラスに転じており、こうしたことも影響したものと考えられる。4月～6月期予想では、販売価格 D.I.・仕入価格 D.I.・在庫 D.I. で改善が見込まれるが、消費税増税を控え、売上価格の引下げ等も余儀なくされ、売上額 D.I.・収益 D.I. は悪化が見込まれ、業況 D.I. では $\Delta 23.0$ ポイントまで悪化する見通しである。

小売業	2019年1～3月期実績	前四半期比	2019年4～6月期予想
業況 D.I.	$\Delta 19.7$	6.0	$\Delta 23.0$
前年同期比売上額 D.I.	$\Delta 14.8$	13.5	-
前年同期比収益 D.I.	$\Delta 6.6$	16.5	-
前年同期比販売価格 D.I.	14.8	9.6	-
売上額 D.I.	$\Delta 13.1$	7.4	$\Delta 11.5$
収益 D.I.	$\Delta 18.0$	7.6	$\Delta 13.1$
販売価格 D.I.	3.3	$\Delta 14.7$	4.9
仕入価格 D.I.	9.8	$\Delta 15.8$	11.5
在庫 D.I.	6.6	9.2	8.2
資金繰り D.I.	$\Delta 26.2$	0.1	$\Delta 24.6$
借入金の難易度 D.I.	$\Delta 15.0$	$\Delta 4.7$	-
前期比残業時間 D.I.	$\Delta 6.7$	8.7	1.7
人手過不足 D.I.	$\Delta 16.7$	4.4	$\Delta 18.6$
現在の設備 D.I.	$\Delta 11.7$	$\Delta 4.0$	-
設備投資 D.I.	21.3	$\Delta 1.8$	-
来期設備投資 D.I.	19.7	$\Delta 6.0$	-

6. 不動産業（回答数 10 前回 8）

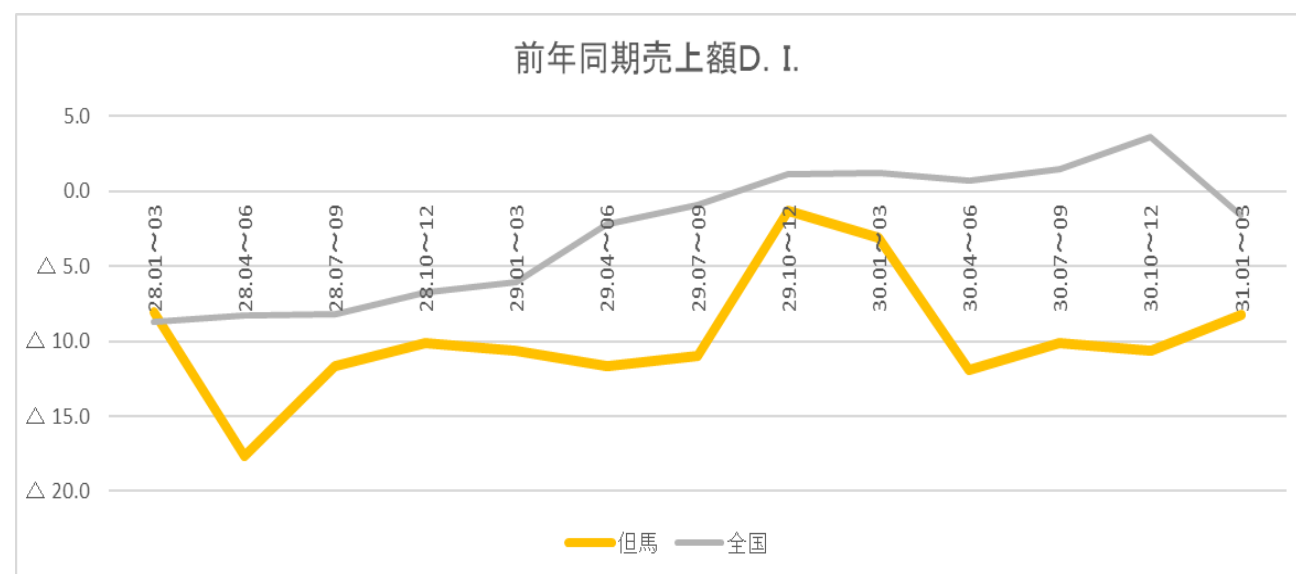
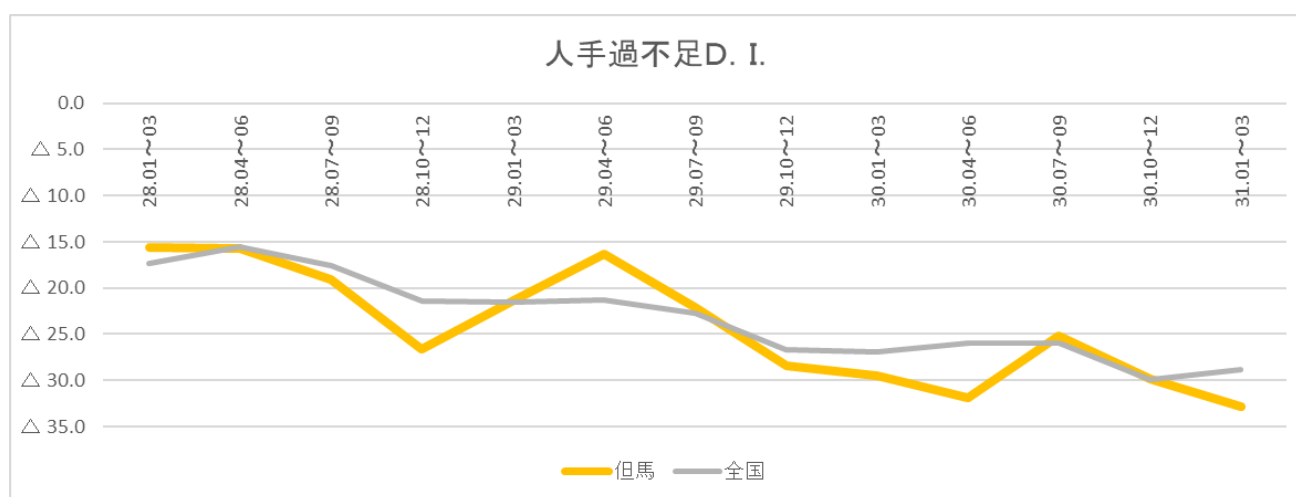
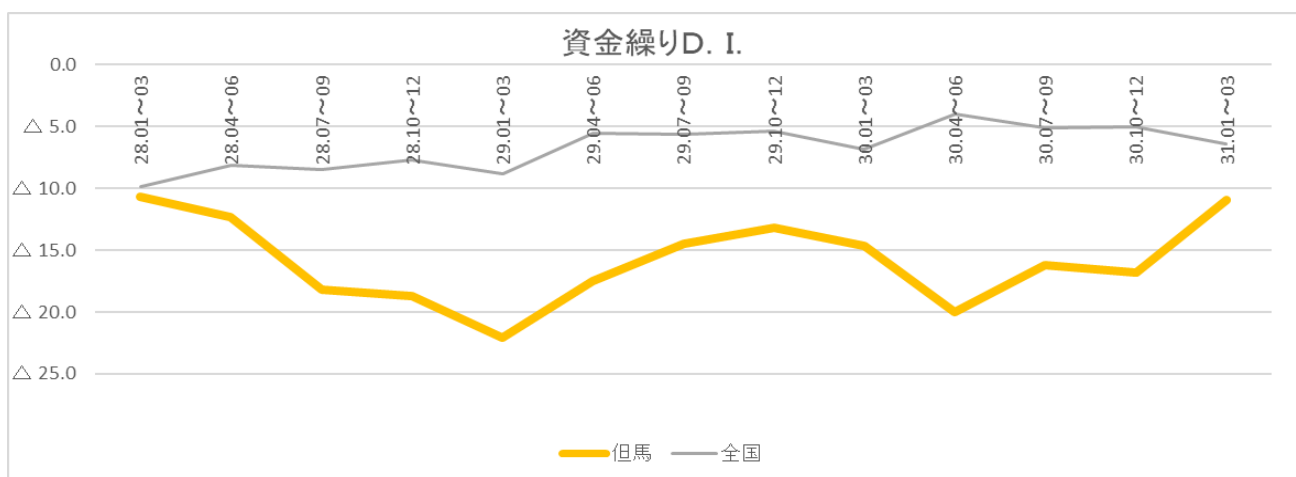
今回の調査で業況 D.I. が 10.0 ポイントとなり、前四半期比 2.5 ポイント悪化した。要因については、販売価格 D.I.・仕入価格 D.I. の改善により、売上額 D.I. は前四半期比 10.0 ポイント改善したが、一方で在庫 D.I. に改善がなく、資金繰り D.I. も悪化したことが影響したものと思われる。しかしながら、借入金の難易度は前四半期比 33.3 ポイント改善しており、在庫圧縮が急がれる状況である。4月～6月期予想では、販売価格 D.I.・仕入価格 D.I.・在庫 D.I. は横這いが予想されるが、売上額 D.I. については 10.0 ポイントの上昇する見通しである。

不動産業	2019年1～3月期実績	前四半期比	2019年4～6月期予想
業況 D.I.	10.0	$\Delta 2.5$	10.0
前年同期比売上額 D.I.	$\Delta 11.1$	$\Delta 23.6$	-
前年同期比収益 D.I.	$\Delta 11.1$	$\Delta 23.6$	-
売上額 D.I.	10.0	10.0	20.0
収益 D.I.	0.0	0.0	$\Delta 10.0$
販売価格 D.I.	10.0	10.0	10.0
仕入価格 D.I.	11.1	11.1	11.1
在庫 D.I.	$\Delta 11.1$	1.4	$\Delta 11.1$
資金繰り D.I.	$\Delta 10.0$	$\Delta 10.0$	$\Delta 10.0$
借入金の難易度 D.I.	0.0	33.3	-
前期比残業時間 D.I.	0.0	0.0	0.0
人手過不足 D.I.	$\Delta 33.3$	$\Delta 20.8$	$\Delta 44.4$

7. サービス業（回答数 128 前回 91）

今回の調査で業況 D.I. が 0.0 ポイントとなり、前四半期比で 12.1 ポイント改善した。要因は、収益 D.I.・資金繰り D.I. で小幅な改善としたが、人手過不足 D.I. は前四半期比 2.2 ポイント悪化の $\Delta 35.2$ と高い水準にあり、引き続き人手不足が深刻な問題となっている。4月～6月期予想では、材料価格の改善は見込めるものの、人手過不足から売上額 D.I.・収益 D.I.・資金繰り D.I. は大きく悪化することが予想され、業況 D.I. では $\Delta 28.3$ ポイントと全業種の中でも最も厳しい見通しである。

サービス業	2019年1～3月期実績	前四半期比	2019年4～6月期予想
業況 D.I.	0.0	12.1	$\Delta 28.3$
前年同期比売上額 D.I.	$\Delta 7.8$	6.5	-
前年同期比収益 D.I.	$\Delta 10.2$	10.7	-
売上額 D.I.	4.7	$\Delta 5.2$	$\Delta 31.0$
収益 D.I.	4.8	3.7	$\Delta 30.4$
料金価格 D.I.	4.0	$\Delta 1.5$	$\Delta 8.8$
材料価格 D.I.	15.1	$\Delta 0.5$	9.6
資金繰り D.I.	$\Delta 7.9$	9.6	$\Delta 19.2$
借入金の難易度 D.I.	$\Delta 14.4$	$\Delta 3.2$	-
前期比残業時間 D.I.	0.0	$\Delta 7.7$	$\Delta 11.0$
人手過不足 D.I.	$\Delta 35.2$	$\Delta 2.2$	$\Delta 29.9$
現在の設備 D.I.	$\Delta 25.8$	3.9	-
設備投資 D.I.	21.9	$\Delta 4.5$	-
来期設備投資 D.I.	23.4	5.9	-



業 種 別 D I 等 の 推 移 表

製 造 業	前年同期に比べた										前期比				
	業 況	売上額	収 益	売上額	受注残	収 益	販売価格	原材料価格	原材料在庫	資金繰り	残業時間	人 手	借入金の 難 易 度	現 在 の 設 備	設備投資 実施割合
30.01～03	△ 7.4	△ 1.2	△ 1.2	△ 14.8	△ 11.1	△ 16.0	12.5	39.5	1.2	△ 7.4	1.2	△ 30.9	12.3	△ 22.2	40.7
30.04～06	△ 4.2	1.4	△ 7.0	△ 12.7	△ 12.9	△ 7.0	1.4	50.7	8.5	△ 16.9	△ 8.5	△ 38.0	7.1	△ 24.3	46.5
30.07～09	△ 14.9	△ 9.5	△ 14.9	△ 18.9	△ 13.5	△ 21.6	1.4	21.6	2.7	△ 10.8	△ 4.1	△ 31.1	0.0	△ 13.7	39.2
30.10～12	3.6	0.0	0.0	28.6	16.1	14.3	16.1	35.7	0.0	△ 7.1	25.0	△ 39.3	5.4	△ 23.2	46.4
31.01～03	4.1	8.2	△ 1.4	△ 17.6	△ 2.7	△ 24.3	0.0	27.0	2.7	△ 5.4	5.4	△ 42.5	8.1	△ 20.3	37.8
31.04～06	△ 2.7														

建 設 業	前年同期に比べた										前期比				
	業 況	売上額	収 益	売上額	受注残	施行高	収 益	請負価格	材料価格	在 庫	資金繰り	残業時間	人 手	借入金の 難 易 度	現 在 の 設 備
30.01～03	△ 6.7	7.9	△ 6.7	1.1	1.1	△ 1.1	△ 10.2	△ 4.4	18.0	△ 6.8	△ 13.3	1.1	△ 30.0	2.4	△ 10.1
30.04～06	△ 15.5	△ 5.7	△ 16.1	△ 1.2	△ 2.3	0.0	△ 9.2	△ 18.4	27.6	△ 5.8	△ 9.2	2.3	△ 33.7	2.4	△ 9.2
30.07～09	△ 3.7	0.0	2.4	2.4	△ 3.6	7.2	7.2	0.0	15.7	△ 2.4	△ 15.7	4.8	△ 36.1	△ 2.4	△ 6.0
30.10～12	9.2	△ 6.1	△ 13.6	11.9	9.0	10.4	13.4	3.0	20.9	△ 4.5	△ 17.9	6.0	△ 37.3	△ 14.3	△ 12.1
31.01～03	△ 4.9	△ 13.4	△ 8.5	△ 12.2	△ 24.7	△ 7.3	△ 8.5	△ 1.2	29.3	△ 4.9	△ 11.0	△ 8.5	△ 43.9	5.1	△ 7.3
31.04～06	△ 2.5														

卸 売 業	前年同期に比べた										前期比				
	業 況	売上額	収 益	販売価格	売上額	収 益	販売価格	仕入価格	在 庫	資金繰り	残業時間	人 手	借入金の 難 易 度	現 在 の 設 備	設備投資 実施割合
30.01～03	△ 21.8	△ 23.6	△ 25.5	14.5	△ 20.0	△ 25.5	12.7	23.6	9.1	△ 7.3	△ 5.5	△ 20.0	△ 9.1	△ 5.5	30.9
30.04～06	△ 32.3	△ 3.2	△ 16.1	19.4	△ 12.9	△ 32.3	19.4	19.4	16.1	△ 9.7	0.0	△ 22.6	△ 3.2	△ 9.7	41.9
30.07～09	△ 42.2	△ 15.6	△ 15.6	20.0	△ 15.6	△ 8.9	15.6	15.6	11.1	△ 8.9	0.0	0.0	△ 15.6	△ 8.9	26.7
30.10～12	3.2	△ 12.9	△ 19.4	22.6	41.9	32.3	35.5	38.7	22.6	△ 22.6	10.0	△ 3.2	△ 3.6	△ 6.5	29.0
31.01～03	△ 16.3	△ 16.7	△ 2.1	25.0	△ 16.3	△ 14.3	18.4	14.3	8.2	△ 8.2	0.0	△ 14.3	△ 8.3	△ 6.3	26.5
31.04～06	△ 18.4														

小 売 業	前年同期に比べた										前期比				
	業 況	売上額	収 益	販売価格	売上額	収 益	販売価格	仕入価格	在 庫	資金繰り	残業時間	人 手	借入金の 難 易 度	現 在 の 設 備	設備投資 実施割合
30.01～03	△ 23.9	△ 30.9	△ 35.3	13.2	△ 22.1	△ 20.6	13.2	23.5	△ 1.5	△ 47.1	3.0	△ 28.4	△ 19.7	△ 20.9	30.9
30.04～06	△ 31.6	△ 31.0	△ 37.9	24.1	△ 31.0	△ 34.5	19.0	27.6	3.4	△ 32.8	△ 3.5	△ 26.3	△ 5.5	△ 15.8	29.3
30.07～09	△ 37.8	△ 28.9	△ 31.1	11.1	△ 15.6	△ 6.7	4.4	22.2	6.7	△ 40.0	△ 8.9	△ 15.6	△ 26.7	△ 13.3	22.2
30.10～12	△ 25.6	△ 28.2	△ 23.1	5.1	△ 20.5	△ 25.6	17.9	25.6	△ 2.6	△ 26.3	△ 15.4	△ 21.1	△ 10.3	△ 7.7	23.1
31.01～03	△ 19.7	△ 14.8	△ 6.6	14.8	△ 13.1	△ 18.0	3.3	9.8	6.6	△ 26.2	△ 6.7	△ 16.7	△ 15.0	△ 11.7	21.3
31.04～06	△ 23.0														

サービス業	前年同期に比べて								前期比		借入金の 難 易 度	現 在 の 設 備	設備投資 実施割合
	業 況	売上額	収 益	売上額	収 益	料金価格	材料価格	資金繰り	残業時間	人 手			
30.01～03	2.8	8.9	1.4	15.2	13.8	6.9	30.5	△ 8.4	△ 2.8	△ 33.1	△ 11.3	△ 26.2	24.7
30.04～06	△ 14.4	△ 17.5	△ 13.5	△ 28.6	△ 15.1	△ 11.9	7.9	△ 27.8	0.8	△ 33.6	△ 14.6	△ 28.0	33.3
30.07～09	△ 3.7	△ 6.7	△ 12.7	7.5	4.5	6.0	18.7	△ 16.4	0.8	△ 28.6	△ 10.4	△ 18.7	23.1
30.10～12	△ 12.1	△ 14.3	△ 20.9	9.9	1.1	5.5	15.6	△ 17.6	7.7	△ 33.0	△ 11.2	△ 29.7	26.4
31.01～03	0.0	△ 7.8	△ 10.2	4.7	4.8	4.0	15.1	△ 7.9	0.0	△ 35.2	△ 14.4	△ 25.8	21.9
31.04～06	△ 28.3												

不動産業	前年同期に比べた										前期比 残業時間	人 手	借入金 の 難 易 度
	業 況	売上額	収 益	売上額	収 益	販売価格	仕入価格	在 庫	資金繰り				
30.01～03	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3	△ 8.3	0.0	△ 8.3	0.0	8.3	△ 25.0	0.0	
30.04～06	0.0	△ 8.3	△ 16.7	8.3	8.3	0.0	0.0	△ 18.2	0.0	0.0	△ 16.7	0.0	
30.07～09	△ 7.7	△ 30.8	△ 23.1	0.0	△ 7.7	0.0	0.0	△ 10.0	7.7	8.3	△ 7.7	0.0	
30.10～12	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 12.5	0.0	0.0	△ 12.5	△ 33.3	
31.01～03	10.0	△ 11.1	△ 11.1	10.0	0.0	10.0	11.1	△ 11.1	△ 10.0	0.0	△ 33.3	0.0	
31.04～06	10.0												

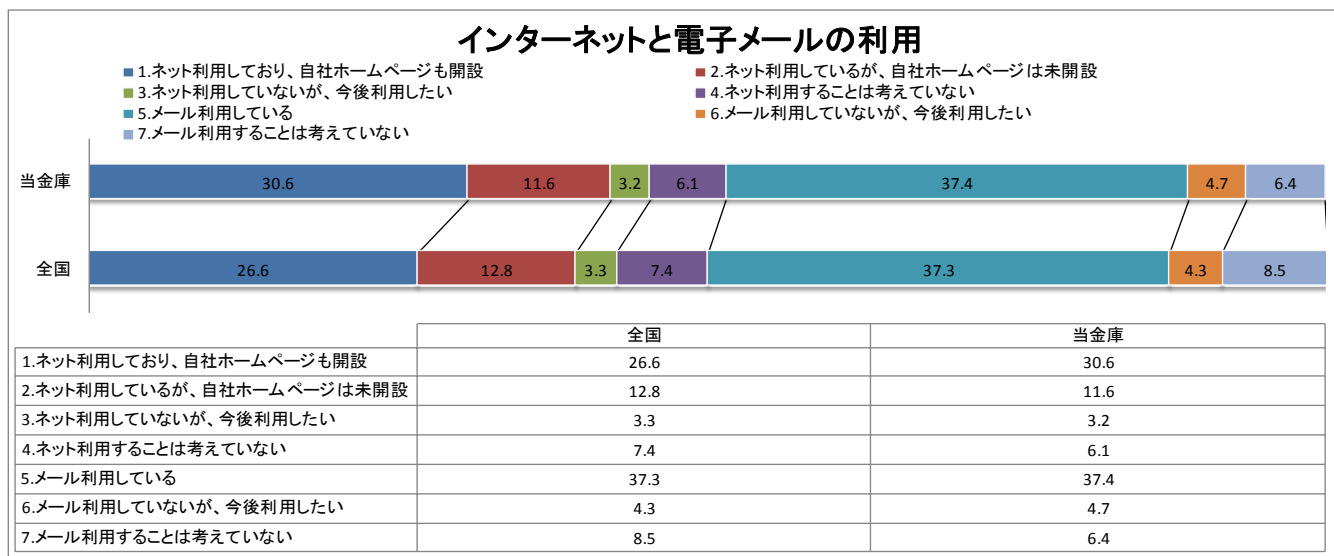
全業種	前年同期に比べた									
	業況	売上額	収益	売上額	収益	資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	
28.01～03	△ 14.4	△ 8.1	△ 10.7	△ 7.3	△ 11.9	△ 10.7	1.1	△ 15.6	△ 4.7	
28.04～06	△ 17.4	△ 17.7	△ 15.2	△ 22.5	△ 24.6	△ 12.3	3.6	△ 15.7	△ 4.8	
28.07～09	△ 20.1	△ 11.6	△ 11.2	△ 4.2	△ 8.3	△ 18.2	△ 5.1	△ 19.1	0.0	
28.10～12	△ 10.8	△ 10.1	△ 11.0	7.1	3.9	△ 18.7	4.2	△ 26.7	△ 8.2	
29.01～03	△ 20.2	△ 10.7	△ 13.0	△ 17.2	△ 17.5	△ 22.1	0.6	△ 21.4	△ 9.1	
29.04～06	△ 20.5	△ 11.7	△ 13.6	△ 23.6	△ 23.6	△ 17.5	△ 6.5	△ 16.3	△ 4.5	
29.07～09	△ 14.2	△ 10.9	△ 15.0	△ 1.6	△ 4.6	△ 14.4	△ 1.3	△ 22.1	△ 8.4	
29.10～12	△ 3.1	△ 1.3	△ 4.6	17.9	9.9	△ 13.2	4.2	△ 28.4	△ 6.7	
30.01～03	△ 7.3	△ 3.1	△ 9.3	△ 3.1	△ 6.5	△ 14.7	△ 0.4	△ 29.6	△ 5.0	
30.04～06	△ 16.4	△ 11.9	△ 16.9	△ 17.4	△ 15.8	△ 20.0	△ 1.0	△ 31.9	△ 4.0	
30.07～09	△ 14.2	△ 10.2	△ 12.7	△ 4.1	△ 3.0	△ 16.2	△ 0.5	△ 25.2	△ 8.9	
30.10～12	△ 3.4	△ 10.7	△ 14.4	13.4	6.2	△ 16.8	6.9	△ 29.9	△ 8.2	
31.01～03	△ 5.0	△ 8.2	△ 6.7	△ 7.9	△ 9.2	△ 10.9	△ 1.7	△ 32.9	△ 5.3	
31.04～06	△ 15.4									

全国	前年同期に比べた			
	業 況	売上額	収 益	資金繰り
28.01～03	△ 11.4	△ 8.7	△ 10.6	△ 9.9
28.04～06	△ 11.4	△ 8.3	△ 9.6	△ 8.1
28.07～09	△ 10.1	△ 8.2	△ 9.2	△ 8.5
28.10～12	△ 6.0	△ 6.7	△ 8.2	△ 7.7
29.01～03	△ 8.5	△ 6.1	△ 8.3	△ 8.8
29.04～06	△ 5.3	△ 2.2	△ 3.8	△ 5.5
29.07～09	△ 3.3	△ 0.9	△ 3.3	△ 5.6
29.10～12	1.2	1.1	△ 2.6	△ 5.4
30.01～03	△ 2.1	1.2	△ 4.4	△ 6.8
30.04～06	△ 2.5	0.7	△ 4.0	△ 4.0
30.07～09	△ 2.1	1.5	△ 3.1	△ 5.1
30.10～12	4.0	3.6	△ 1.1	△ 5.0
31.01～03	△ 3.7	△ 1.6	△ 5.5	△ 6.4
31.04～06	△ 2.7			

《特別調査》中小企業におけるインターネット利用とキャッシュレスへの対応について

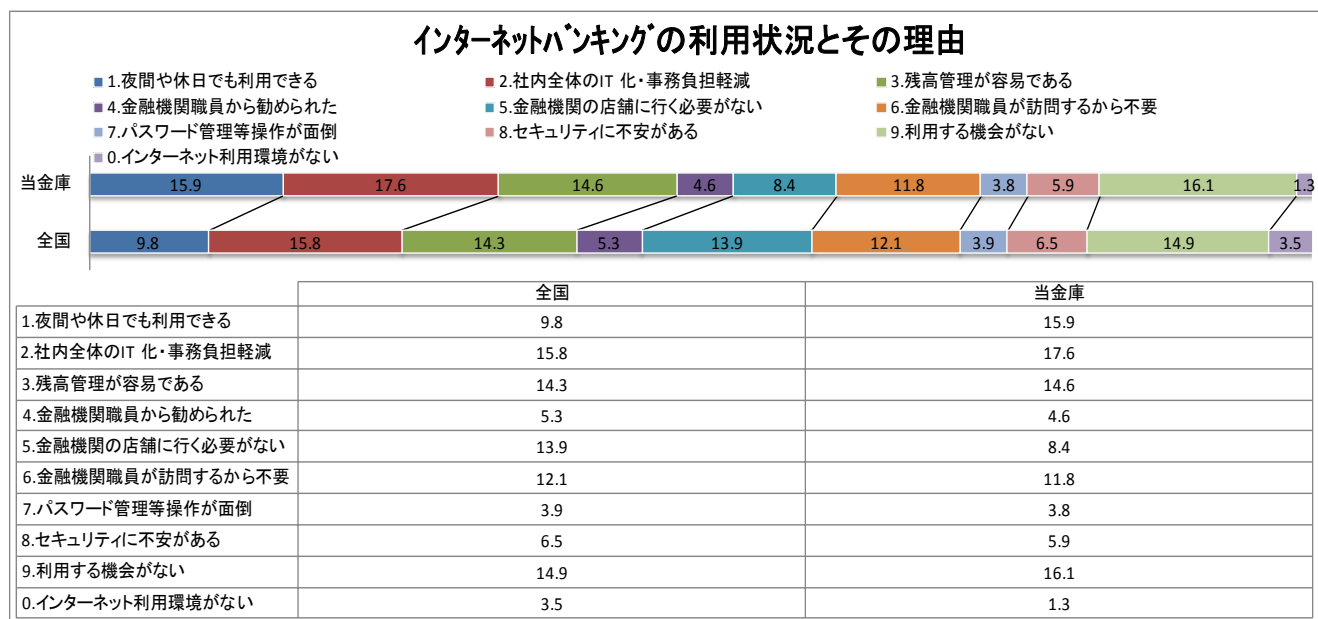
【問１】インターネットと電子メールの利用について

事業に於ける情報収集や情報発信にインターネットや電子メールを活用しているかの問いに対し、インターネットや電子メールを利用しているという回答は全体で79.6%あり、「利用しており、自社ホームページも開設している」との回答は当庫30.6%、全国26.6%と全国と比べても高く、着実にデジタル化への対応が進んでいる状況が窺える。また、規模の大きい企業ほどインターネットや電子メールの利用割合は高く、販促や商品企画等に積極的に利用が進んでいることが窺える。



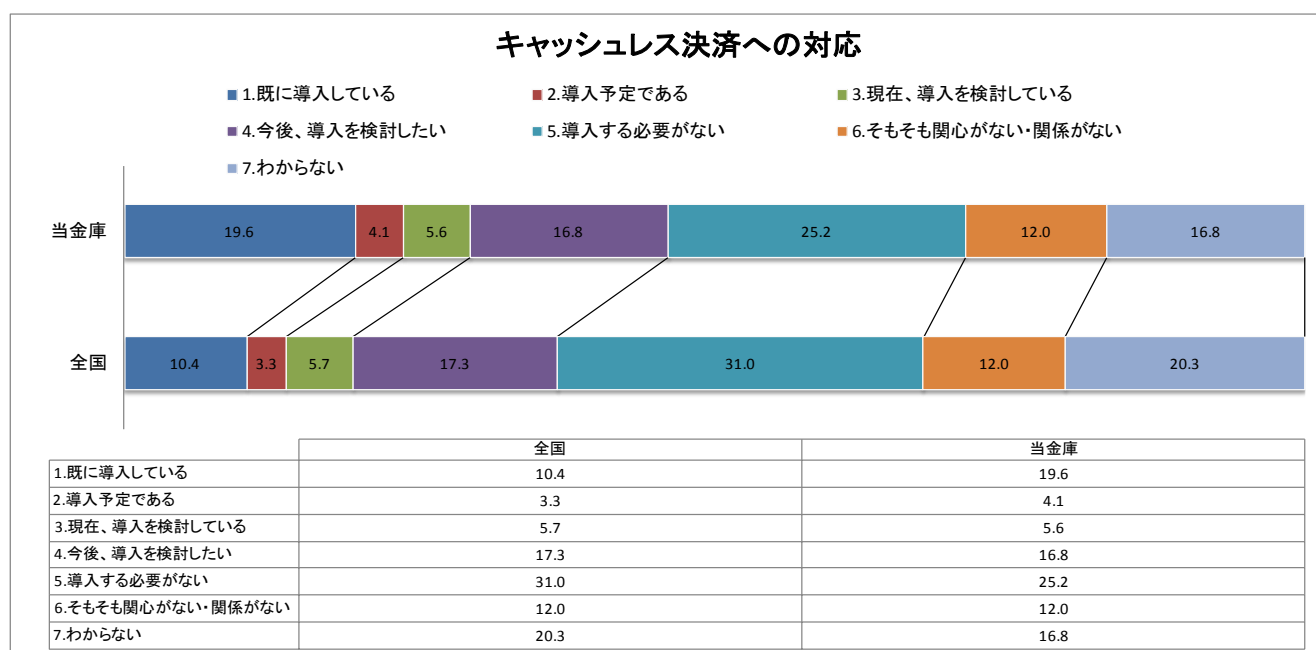
【問２】インターネットバンキングの利用状況とその理由について

インターネットバンキングの利用状況では、当庫61.1%が「利用している」と回答し、全国59.1%よりも高く、利用理由としては、「IT化による事務負担軽減」、「夜間休日でも利用できる利便性」、「残高管理が容易」などが挙げられた。人手不足感が高まる中、IT化により社内の事務負担を少しでも改善して行く兆しが窺える。



【問3】キャッシュレス決済への対応について

令和元年10月に予定される消費税引き上げに向けキャッシュレスへの対応については、「既に導入している」が19.6%と全国10.4%と比べても高く、「導入予定である」・「導入を検討したい」といった回答も合わせると、当庫46.1%と全国36.7%と比べ高い割合となっており、キャッシュレス決済導入に向けた意欲が感じられた。業種別では、個人を対象とする小売業やサービス業では割合が高かったが、卸売業や製造業などではキャッシュレス決済の必要性も乏しく、割合は低いものとなった。但し、キャッシュレス決済導入の意義については、現金を使用しない新しい決済手段として業種を問わず全般的に関心が高かった。



【問4】現在活用しているキャッシュレス支払手段及び、【問5】今後活用

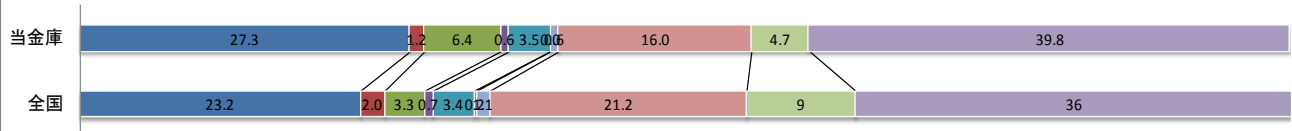
したいキャッシュレス支払手段について

取引先や顧客との決済について現在のキャッシュレス支払手段について、現在および今後の意向について聞いたところ、当庫は「クレジットカード(27.3%)」が最も高く、全国23.2%よりも高い割合となり、既に積極的な活用が窺えた。また、「スマートフォンによるQRコード決済(6.4%)」についても、全国3.3%に比べ高い割合となった。キャッシュレス決済など新しい決済手段を積極的に活用して、顧客を囲い込もうとする姿勢が窺えた。

一方、今後活用したいキャッシュレス支払手段では、「クレジットカード(21.4%)」が最も高く、「スマートフォンによるQRコード決済(15.9%)」より高い割合となった。また、電子マネー（流通系・交通系）については、但馬地域が車社会であることから交通系の電子マネーの普及が進んでおらず、全国6.2%と比べても低い割合となった。業種別では、個人を対象とする小売業やサービス業で何らかのキャッシュレス手段を活用して行きたいという割合が高かったが、製造業や卸売業などの業種では【問3】同様反応が薄い結果となった。

現在活用しているキャッシュレス支払手段

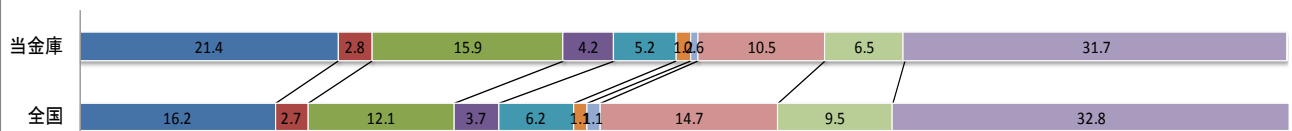
- 1.クレジットカード
- 2.デビットカード
- 3.スマートフォンによるQRコード決済
- 4.スマートフォンによるバーコード収納
- 5.電子マネー(交通系・流通系)
- 6.デジタル通貨(地域電子通貨・仮想通貨)
- 7.プリペイドカード
- 8.口座振替(自動引落)サービス
- 9.電子記録債権(でんさい等)
- 0.活用していない・関係ない



	全国	当金庫
1.クレジットカード	23.2	27.3
2.デビットカード	2.0	1.2
3.スマートフォンによるQRコード決済	3.3	6.4
4.スマートフォンによるバーコード収納	0.7	0.6
5.電子マネー(交通系・流通系)	3.4	3.5
6.デジタル通貨(地域電子通貨・仮想通貨)	0.2	0.0
7.プリペイドカード	1.1	0.6
8.口座振替(自動引落)サービス	21.2	16.0
9.電子記録債権(でんさい等)	9.0	4.7
0.活用していない・関係ない	36.0	39.8

今後活用したいキャッシュレス支払手段

- 1.クレジットカード
- 2.デビットカード
- 3.スマートフォンによるQRコード決済
- 4.スマートフォンによるバーコード収納
- 5.電子マネー(交通系・流通系)
- 6.デジタル通貨(地域電子通貨・仮想通貨)
- 7.プリペイドカード
- 8.口座振替(自動引落)サービス
- 9.電子記録債権(でんさい等)
- 0.活用していない・関係ない



	全国	当金庫
1.クレジットカード	16.2	21.4
2.デビットカード	2.7	2.8
3.スマートフォンによるQRコード決済	12.1	15.9
4.スマートフォンによるバーコード収納	3.7	4.2
5.電子マネー(交通系・流通系)	6.2	5.2
6.デジタル通貨(地域電子通貨・仮想通貨)	1.1	1.2
7.プリペイドカード	1.1	0.6
8.口座振替(自動引落)サービス	14.7	10.5
9.電子記録債権(でんさい等)	9.5	6.5
0.活用していない・関係ない	32.8	31.7

以 上

参考文献 ・信金中央金庫 地域・中小企業研究所「第 175 回全国中小企業景気動向調査」